自主・協力・明朗

西中だより

自信をもって自分を語る生徒の育成

令和８年
11月号
柳井西中学校



今月の Best shot
文化祭の昼食時間。友達とお弁当を囲み、カメラに向かって笑顔でピース！



今月のトピックス TOPICS

01 秋冬の寄せ植えづくりに挑戦！



室内園芸装飾技能士会の方を講師に迎え、技術の授業でものづくり教室を実施しました。生徒たちは花の色や配置を工夫し、思い思いのコンテナガーデンを完成させました。

02 俳句の世界を絵で表現！



西中サポーターの方にご指導いただき、俳画教室を実施しました。生徒たちは、自分で詠んだ俳句の情景を思い浮かべながら、色紙に水彩絵の具で思い思いの絵を描き、俳句の世界を表現しました。

03 自分たちの言葉で俳句を語る！



文化祭の俳句甲子園に向け、藤柳句会の方々を迎えて選手学習会を実施しました。生徒たちは助言に耳を傾けながら、自分たちの句の意図や考えを堂々と語り、地域の方々との熱心な意見交換が繰り広げられました。

04 自分たちの取組を堂々と報告！



学校運営協議会で、生徒会がボランティア活動の取組と成果を報告しました。6月の熟議でいただいた意見を基に、自分たちで考え、工夫して実践した内容を堂々と発表し、質問にも自分の言葉で答えていました。

05 全員が主役！輝いた文化祭



生徒会執行部を中心に、全校生徒が力を合わせて創り上げた文化祭。これまでの準備や練習の成果を発揮し、一人ひとりがそれぞれの場面で輝きました。仲間とともに支え合い、笑顔と感動に包まれた一日となりました。

特集1 花と緑に思いを込めて ～秋冬のコンテナガーデンづくり～









1年生の技術科の授業で、山口県室内園芸装飾技能士会の方々を講師にお迎えし、「秋冬のコンテナガーデンをつくろう」をテーマにものづくり教室を開催しました。
今回使用したのは、ガーデンシクラメンやキンギョソウ、ゴールドクレストなどの植物です。生徒たちは、花の色や高さ、全体のバランスを考えながら、自分のイメージに合った寄せ植えづくりに挑戦しました。どこに何を植えるか、真剣な表情で考える生徒たち。作業が進むにつれて笑顔も増え、完成に近づく鉢をうれしそうに眺める姿が見られました。
同じ材料を使っても、完成した作品は一人ひとり違います。それぞれの個性や工夫が表れた作品には、自分の思いを形にするものづくりの楽しさが詰まっていました。

特集2 地域の声を力に、自分たちで考え行動する ～生徒会の挑戦～









6月の学校運営協議会では、委員の皆様と生徒会執行部が「ボランティア活動をもっと活性化させるためにはどうすればよいか」をテーマに話し合い、委員の皆さんから様々な意見をいただきました。生徒会では、それらの意見を参考にしながら、自分たちなりに考え、これまでの取組を改善してきました。
今回の学校運営協議会では、その後の取組と成果を生徒会執行部が報告。どのような工夫を重ね、現在どのような成果が生まれているのかを筋道立てて説明し、委員の方々からの質問にも自分たちの言葉で堂々と答えていました。
地域の方々とともに考え、自ら行動し、その成果を自信をもって語る生徒たち。頼もしい成長が感じられる時間となりました。

特集 3

一人ひとりが主役となり、仲間とともに創り上げた最高の舞台 ～笑顔と感動に包まれた文化祭～














今年の文化祭は、「協創～全員主役！『輝け』最高の舞台（ステージ）～」のスローガンのもと、全校生徒が力を合わせ、一人ひとりがそれぞれの場面で輝く素晴らしい一日となりました。生徒会執行部を中心に、これまで準備や練習を積み重ねてきた生徒たち。当日は、その成果を自分たちの力で堂々と表現し、まさに自分たちの手で文化祭を創り上げていました。

俳句甲子園では、自分たちが詠んだ俳句に込めた思いや言葉の意味を、自分の言葉で堂々と語る姿が印象的でした。相手の俳句にも真剣に向き合い、互いの考えを交わす中で、言葉の奥深さや表現することの楽しさが伝わってきました。これまで学んできたことを生かし、自信をもって自分たちの考えを伝えようとする姿に、大きな成長を感じました。

合唱コンクールでは、昼休みなどの時間も使い、仲間とともに練習を重ねてきた成果が存分に発揮されました。どのクラスも、これまで積み重ねてきた思いを歌声に込め、それぞれのクラスらしい合唱を披露しました。仲間と心を合わせ、一つの音楽を創り上げようとする真剣な姿からは、クラスの絆が感じられました。

特に3年生にとっては、中学校生活最後の文化祭。これまでともに過ごしてきた仲間との思い出を胸に、一つ一つの発表や役割に全力で取り組んでいました。その姿には、最後の文化祭を自分たちの手で最高のものにしようとする強い思いがあふれていました。

ステージで発表する人、それを支える人、仲間の頑張りを見守る人。役割は違っても、誰もが文化祭を創り上げる大切な主役です。仲間とともに考え、支え合い、自分たちらしい表現を届けた一日。スローガンに掲げた「協創」が形となり、生徒一人ひとりの輝きが心に残る文化祭となりました。

クローズアップ

地域とともに育む「西中PRIDE」
～俳句を通して広がる学びとつながり～






文化祭の俳句甲子園に向けて、地域の藤柳句会の皆様をお招きし、選手学習会を開催しました。各チームの代表生徒が、自分たちの俳句のよさや相手の句への質問などを考える中で、句会の皆様から言葉の捉え方や俳句の奥深さについて温かい助言をいただきました。

特に印象的だったのは、生徒たちが教えてもらうだけでなく、自分たちの考えを何とか伝えようと一生懸命に語る姿です。最初は緊張していた生徒も、次第に自分から質問したり、意見を述べたりするようになり、地域の方々との対話が深まっていきました。

学習会後、句会の皆様からは「おもしろかった！」という声が聞かれ、生徒たちの熱意が地域の方々の心も動かしたことが伝わってきました。

地域には、こうして生徒の学びを支え、成長をともに喜んでくださる方々がいます。地域の方々と学び合い、その温かさや支えを実感することは、ふるさとへの愛着や誇りを育む大切な機会でもあります。地域とのつながりの中で自信を深め、自分の言葉で堂々と語る生徒たち。こうした経験の積み重ねが、柳井西中学校の「西中PRIDE」をさらに育んでいくのだと思います。

Snap Shot














西中の様子を
ホームページで！

ホームページはこちら

生徒の活動の様子を
毎日配信中！
是非、ご覧ください！